

社会福祉協議会

社会福祉協議会は、地域福祉を推進する民間の団体です



No.128

みなみあしがら



12月25日 しゃぼんだまの会 どんぐり拾い (岡本コミュニティーセンターに隣接するくぬぎ林)

第128号
主な記事

社協広報誌

県福祉作文コンクール、冬休みしゃぼんだまの会… ② ③

ヘルパーステーションの紹介、交通遺児世帯を支援します、寄付の窓口… ④

発行

社会福祉法人南足柄市社会福祉協議会・共同募金会南足柄市支会

〒250-0105 南足柄市関本403-2 南足柄市りんどう会館1階

TEL 0465-73-1575 FAX 0465-74-3276

ホームページ <http://www.minamisyakyo.or.jp> E-mail soumu@minamisyakyo.or.jp

県福祉作文 コンクール

本市中学生が、入選

第39回神奈川県福祉作文コンクールに、小、中学校合わせて228校、9,149編の応募があり、審査の結果、56編の作品が入選しました。

本市からは、1名の方が佳作を受賞されたのでご紹介します。

佳作 軽度発達障害に対する福祉の遅れ

足柄台中学校3年
山賀 葉月やまが はつつき



私には2才違いの兄がいる。軽度発達障害だ。見た目は何も変わらない。とても優しいし、頭もいい、面白い兄だ。

しかし、小さい頃は違った。私が物心つく頃から、意地悪はするし乱暴で「ばーか、ばーか」といつも言ってきた。よく兄は母に叱られていた。そのたびに私は怖くて他の所に行っていた。その頃は兄が大嫌いだった。兄の叱られる姿を見るたびに私は「いい子にならなければいけない、いつも真面目な子でいなければいけない」と思ってきた。友達が持っているゲーム機も欲しかった。しかし我慢しなければいけないと思い「いら

ない」と答えていた。

子ども会の集まりがあると役員さんは必ず兄を叱り、夏祭りの日「こういう子が将来刃物を振り回して犯罪を起こすんだ」と言った。怖くて今でもはつきり覚えている。自分が言われていることのように傷ついた。

兄は小学3年生の時に「高機能自閉症」と診断された。それから車で一時間位の発達支援センターまで毎月母と通っていた。頭がよくて、運動能力も人並みで、ただコミュニケーションがとりづらい。日常と違ったことが起こるとパニックになる。これだけのことでも兄は辛かったと思う。子ども会行

事にも参加できず、私は家に帰って楽しかったことを兄の前では絶対に話さなかった。

世の中の福祉といえば、高齢者、身体障害者、知的障害者には手厚いケアをしているように思われる。それはとても大事なことだと思う。しかし、見た目は健常者なのに本人はとても苦しい思いをしている発達障害者には何をしてくれているのだろうか。

私は生まれてからずっと兄を見てきた。成長すると共に、感情が高ぶっているときはゆっくり話を聞いてあげた。そこにはちゃんと兄の考えがあった。だから特異行動をとってしまうのだということも学んだ。

兄は中学に入学してからは、「目立たないでいることが問題を起こさないことなんだ」と言っていた。それが発達支援で学んだことなのだろうか。笑う顔の練習、怒った顔の練習、そうした訓練でコミュニケーションをはかる。それがどれだけ役立っているのか疑問に思う。研究結果や健常者が考えた支援プログラムで本当に障害者は楽になるのか。それより障害者本人の声、家族の声をもっと沢山集め、現状に沿った発達支援をするべき

経験豊かなシルバーパワー いろいろお手伝い致します

- ☆植木の剪定や除草
- ☆お掃除や襖張り
- ☆親切なパソコン教室
- ☆デジタルカメラ撮影講座
- ☆こどもの一時預かり

お気軽にお問い合わせください



南足柄市シルバー人材センター
〒250-0113南足柄市岩原1016-1おかもと福祉館内
TEL.0465-72-0789 FAX.0465-73-4055

当事務所の特色 3つの柱

- ◇財産の管理、税金の相談
- ◇「成年後見」等のお手伝い
- ◇円満な相続及び相続対策のお手伝い

税理士法人 押田会計事務所

小田原事務所 〒250-0011 小田原市栄町1-11-16Mビル5F
TEL.0465-20-1170

横浜事務所 〒220-0005 横浜市西区南幸2-19-4折目ビル4F
TEL.045-313-1546

<http://www.oshidakaikai-tms.or.jp>



医療法人

おぎの整形外科・歯科

診療時間

整形外科 AM9:00~12:00
PM3:00~6:00

歯科 AM9:00~12:00
PM3:00~6:00
土曜日のみ
PM2:00~5:00

休日 水・日曜・祝日



整形外科 TEL.0465-73-1100
歯科 TEL.0465-73-2288
〒250-0105神奈川県南足柄市関本750-1
<http://www.ogino.or.jp>

だと思ふ。自分の意見を自由に表現できて、それを実行するために周囲の人たちが暖かく見守り、理解し、支えてあげる。そして成功体験を沢山学ばせてあげる。これが本場の発達障害者に対する福祉なのではないか。

私は福祉に携わるとしたら、本人が生き生き生活できるように周囲の人々に発達障害の理解を呼びかける。「怒鳴る前にゆっくり話を聞いてあげてください」とお願いする。そして辛い気持ちに共感してあげる。そんな福祉を実現させたい。

今、兄は高校生になった。兄がリビングにいるだけで、なぜかほのぼのとした暖かい空気が流れる。ここまでくるには兄も想像もできない程の辛い経験をしたと思う。そして経験値をつみあげてきたのだろうと思う。

私は将来、もし兄に何かあったら守ってあげよう、私だけは兄の理解者でいようと強く決心した。兄だけでなく、周りには発達障害で苦しんでいる人は沢山いると思う。福祉という観点から、もっと一般人に発達障害の理解を深めてもらい、傷つくような言葉、偏見をなくし、一人ひとりの特性に

あった支援をする。そしていつも笑顔で生活できるような社会を作り出す。これが、これから私たちが目指す福祉であると強く思う。

冬休みしゃぼんだまの会



松ぼっくりで、ミニクリスマスツリー作り

恒例の冬休みしゃぼんだまの会が昨年12月25日(金)に岡本コミュニティセンターにおいて開催されました。

この会は、社協が平成14年度から実施している障害児一時預かり事業で、障害児世帯の身体的、精神的な負担の軽減とその家族間でのふれあいを築くとともに、障害

児童への理解と促進を図ることを目的として実施されています。

当日は、しゃぼんだまの会に参加している家族の方、卒業生、ボランティア他支援者等総勢80名余りの参加となりました。皆さんは会場の岡本コミュニティセンターに到着して、隣接するくぬぎ林に「どんぐり山探検」と称し出発しました。寄付でいただいた松ぼっくりでミニクリスマスツリーを作りました。その間にボランティアのおにぎりと、山崎トンボの会による猪鍋で楽しいお昼ご飯。昼食の後も墟下地域福祉会の綿菓子タイム、「劇団ぽぽ」による人形劇、そしてお菓子や竹トンボ、大根など盛りだくさんのプレゼントがあり、子ども達は普段では味わえないふれあいに、時間を忘れてはしゃいでいました。

支援者の方々は、社協職員との打合せ等、万全の態勢で臨まれましたが、そんな子ども達の姿を目を細めて観ていました。

日々忙しい毎日を過ごされている皆さんが、このようなふれあいの場を通じてお互いの理解を深め、ともに元気を分かち合い、明日への力となるような笑顔が大変印象的でした。

出版
印刷
製本

あなたの原稿を形にします

有限会社教文社
南足柄市広町935
TEL.0465-74-1404
FAX.0465-72-1040

福祉用具・販売・レンタル・住宅改修

メディカルサービス

おかもと

南足柄市福泉24-9
TEL 73-3995

営業日 月～土曜日
営業時間 午前9時～午後6時(月～金曜日)
午前9時～午後5時(土曜日)
休業日 日曜・祝祭日

家中がスッキリ

不用品の整理処分

浄化槽から下水道への切替工事

蜂の巣・害虫駆除

困ったら何でもご相談ください!!
(引き取り費用がかかります)

私達は豊かなあしがら地域の自然と環境を守ります。

あしがら環境保全(株)

本社営業所：南足柄市狩野4 8 6
☎74-0056(代)

営業時間 8:10～17:00(土曜午後・日曜・祝日は休み)

こんにちははヘルパーステーションです

皆で自主研修を実施



介護保険の改正により、生活援助のサービスはどうなってしまうのか、心配と不安はありますが、多様なサービスに対応するため、自主研修会などを開き、日々サービスの向上に努めています。

利用者の皆さんに喜んでいただくために、昨年12月12日(土)に女性センターで料理実習を行いました。



高齢者向けに煮物や酢の物を

資格をお持ちの方、一緒に働いてみませんか

問い合わせ先 ☎72-2112 中村まで

交通遺児世帯を支援します

県社協では、不幸にも交通事故により一家の大黒柱を失った遺児へ、見舞金や激励金をお渡ししています。お渡しするには書類等による申請が必要となります。

TEL 73・1575

交通遺児援護金支援内容

◇見舞金10万円

(労働災害見舞金の支給を受けていない世帯)

◇激励金いずれも5万円

- ①小学校に入学するとき
- ②中学校に入学するとき
- ③中学校を卒業するとき
- ④高等学校を卒業するとき



理事會報告

◆2月23日 議題

△平成27年度予算の補正について
△特定個人情報取扱規程について

【寄付金】

JAかながわ西湘岡本・岩原支店ゴルフ実行委員会	35,000円
りんどう会館 募金箱	51,046円
ゴルフの仲間 八宝会	10,000円
関本地域福祉会	5,000円
神奈川県立足柄高等学校PTA	10,000円
和田河原ホタル保存会	5,013円
南足柄生涯野球クラブ	10,000円
福沢幼稚園交通安全母の会	3,202円
第20回岡本コミュニティセンターまつり実行委員会	
チャリティーダンスパーティー	26,434円
ピアゴ大雄山店のお客様	39,830円
悠々会(チャリティーパークゴルフ大会)	3,400円
匿名(2件)	11,000円

寄付の窓口

まごころありがとう

27.12.1~28.2.29 (敬称略)

【寄付品】

東京伊勢タオル販売株式会社
石鹸・歯ブラシ等
 匿名.....ソファベットの切手
 匿名.....切手

編集後記

TBS報道特集を見ました。元岡山盲学校竹内教頭は、『盲目の先生(命の授業)』の中で「つらいことは続かない。どうしてもつらかったら逃げてもいい。最善を尽くして待て」と励ましていました。

かつて竹内少年は目が見えなくなつて、大好きな母親が悲しみ苦しむと闘う姿に接して、その深い愛が見えてきました。見えないというだけで、日々エスカレーターすらないじめも母親に心配を掛けたくないという思いと、本人の負けん気の強さで、学校に通い続けました。当時、障害のある子供は家に隠す時代。しかし父親は、積極的に外に連れ出し、たくさんの経験を積み重ね鍛えました。そして、東京パラリンピック盲人卓球競技の金メダリストに育て上げたのです。

本号掲載の作文にもお兄さんの話をゆつくり聞き、支える筆者の姿があります。心は見えないけれど姿や振る舞いの中に、その見えないものが見えてくるのでしょうか。周囲の人たちには暖かい見守り、支えるためのシステム作りが求められていると思います。

編集委員 澤口京子